

ご参拝の教信徒の皆様、新年明けましておめでとうございます。

令和三年、皇紀二六八一年、辛丑之歳の新春を迎えました。

教信徒の皆様におかれましては、大神様、御教祖様、各家御祖先様方のご守護により、それぞれに健やかな元旦を迎えられた事と心よりお慶び申し上げます。

本日は遠方各地、畿内、大阪府下、市内近郊の皆様、早朝より元旦祭にお出まし頂き、大神様の御前で、誠心を披瀝して頂きました。皆様のこの篤き信心は、必ずや大神様、御教祖様、



教主・大阪本部長様

話 教 「神を敬い、祖先を尊ぶ」が基本
—冬至祭に於ける今年の運勢— 元旦祭



元旦早朝の教会御門前。

各家御祖先様方がお酌み取り下さり、本年が昨年にも増して幸多き歳であることと、心より強く思うところでございます。

又旧年中には、権現家をはじめ、教会職員にも、暖かいお心遣いを頂きました事、心より厚く御礼申し上げます。

先程の祭典中、神楽「浦安の舞」を大変華やかに奉納頂きました。舞人は、新宅の倭子さん、森紀美子さん、森豊子さん、森彰子さん

また、祭典の祭員奉仕も、権現家、職員以外の方にもご奉仕頂いております。大神様の最も近くでご奉仕出来るのが、祭員、雅楽のご奉仕です。どなた様でも宜しく御奉仕賜りたいと存じます。

さて昨年は、国内においても二月頃より本格的に流行の兆しを見せた「新型コロナウイルス」の影響を受け、東京オリンピックの延期を筆頭に、世の中が「コロナ禍」に振り回された一年でした。

また、祭典の祭員奉仕も、権現家、職員以外の方にもご奉仕頂いております。大神様の最も近くでご奉仕出来るのが、祭員、雅楽のご奉仕です。どなた様でも宜しく御奉仕賜りたいと存じます。

また、祭典の祭員奉仕も、権現家、職員以外の方にもご奉仕頂いております。大神様の最も近くでご奉仕出来るのが、祭員、雅楽のご奉仕です。どなた様でも宜しく御奉仕賜りたいと存じます。



発行所 大阪本部長
大阪府西淀川区北堀江3丁目10番
電話 06(6531)6722
FAX 06(6531)6152
© (非売品)

2月号

自家成立の
根源は和にあり
秩序の根源は
神祖崇敬より



元旦祭・奉納神楽「浦安の舞」
四人の巫女が気持ちを合わせ、優雅に華やかに奉舞。

しかし、我が教えにおいては、大神様のご守護により、当大阪本部、西播支部、養老支部でも教信徒の方々が感染される事はこれまでありませんでした。

大変にありがたい御神威をどなたも頂かれています事に、心より感謝致すものでございます。

このコロナ禍で、大なり小なり影響は受けますが、大神様のご守護を受けられ、教信徒の皆様は無事に乗り切る事が出来ます。目前の事象一つ一つをしっかりと

「全集中の呼吸」と云えば、昨年大ヒットした「鬼滅の刃」というアニメの中で、主人公の少年がよく口にしていたセリフです。一つの社会現象を巻き起

り、最大限の努力でこなしていって下さい。さて社会全般ですが、主に国内、政治は四月、六月、経済は三月、七月にご注意が出ております。疫病は二月、三月、四月にコロナのご注意が出ております。国内では六、七月にかけて順次収まるということですが、八月は手足口病等、十二月はインフルエンザ等の既存の流行病にお気を付け下さい。又、家畜の伝染病が七月と十月にご注意が出ております。

天災は八月末から九月にかけて、特に九州、四国、近畿地方に大雨、台風等の注意が出ております。又一月は大雪で、北陸以北にご注意が出ております。

今年十月までに衆議院総選挙、東京都知事選挙が予定されています。コロナ禍による、実質的な経済活動の低調、自然災害、総選挙による政治の混乱、あらゆる事に、お互いに「全集中の呼吸」で備えて参りましょう。

春之祖先霊大祭

ご慰霊 申込み受付
新合祀 (祭典後に信徒総会を開催)

各家ご祖先の大切な春の霊大祭、感謝を込めて、家族揃ってご参拝になり、誠心のご慰霊を致しますよう。尚、今年の信徒総会も、昨年同様、春之祖先霊大祭祭典後に開きます。

開祭時刻は午後一時半です。お帰りのご予約等、お間違いのないよう、ご注意をお願いいたします。

満年齢があります。教会では月並運勢のお申し込みや厄年等、主に数え年で歳を数えます。

世間一般では数え年を使う事は少ないかも知れませんが、それこそ神社等の厄除けや七五三では、数え年と満年齢で迷われる方も居られる様です。

満年齢は、生まれた日を〇歳として数え、翌年の誕生日で一歳になるという数え方です。

数え年は、生まれた日が既に一歳。更に、誕生日に関係なく、年が明けると二歳になるという数え方です。

諸説ありますが、日本を含む主にアジア圏の国々では、古くから数え年が使われていた様なのです。

これには理由がありました。現在、暦の世界標準は太陽暦ですが、アジア諸国は昔、太陰暦を用いており

ました。太陰暦を使用していると、年齢は数え年で数える方が都合が良いと云われているのです。

実はこの数え年と今日の大祓式にも関係があります。いつもお話しします様に、我々人間の魂は、神様からの分霊です。ですから、人間は生まれながらにして清い存在なのです。

しかし、世俗に生活するうちに、様々な罪、穢れに触れてしまいます。

ですから、お正月を迎え、歳を一つとる前に、身も心も洗い清め、元の姿に生まれ変わって歳を一つとりたという願いが込められているのです。

その様に考えますと、やはり日本では、特に神事については数え年で歳を数えるのが、神様の意に沿うという事なのです。



皆さん、和気諸々の内にも、真剣に。

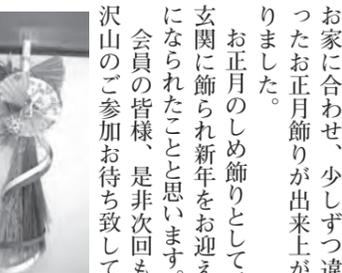
今年も立派に「お正月飾り」が出来ました。

新型コロナウイルス感染拡大の中、毎年恒例となつております、愛教婦人会主催「お正月飾りを作る会」が、師走押し迫る十二月十七日開催されました。

今年も、定員を上回る三

十名の方の申込みをいただきました。

婦人会顧問・多恵子様に稲穂や松・水引・飾りを用意していただき、特に今回は、養老教会より沢山の稲穂をお分け頂き、稲穂をふんだんに使った立派なお飾りとなりました。和気諸々の内に、それぞれご自分の



稲穂も豊富に、華やかなお飾りに。

お家に合わせ、少しずつ違ったお正月飾りが出来上がりました。

お正月のしめ飾りとして、玄関に飾られ新年をお迎えになられたことと思います。会員の皆様、是非次回も沢山の参加お待ち致しております。

例年三月に開催いたしております。愛教婦人会総会ですが、今年は諸事情を鑑み、延期とさせていただきます。期日決まりしだい、改めてご案内申し上げます。

春之祖先霊大祭 並びに信徒総会
三月二十日(春分の日)
午後一時半 開式
祭典に引続き
信徒総会を開催

※ご慰霊、新しい霊の合祀
願いの申込みは、三月十五日までに教会事務所へなさってください。

二月	一日(月)	月並祭	午後七時
	二日(火)	節分厄除祈願祭 (節分豆まき神事)	午後七時
	七日(日)	御本宮月並祭	午前十一時半
	八日(月)	修行日	午前九時
	九日(火)	修行日	午前十一時
	十一日(祝)	建国記念祭	午後七時
	十三日(土)	和歌山地区敬和会 大阪近郊各地区合同敬和会	午前十時半
	十四日(日)	米子地区敬和会	午後七時
	十五日(月)	月並祭	午後七時
	二十日(土)	養老教会修行日	午後七時
	二十一日(日)	西播教会修行日	午後七時
	二十五日(木)	修行日	午前十一時
	三十一日(日)	月並祭	午後七時
	御本宮月並祭	御本宮通拝式	午前十一時半
	修行日	修行日	午前九時
	教祖祭	教祖祭	午前十一時
			午後七時

寶生教 国旗掲揚運動

でございませう。さて、お話のはじめに、今年の月並運勢について触れようかと存じます。

まず皆様の各ご家庭、会社の分数ですが、昨年と比較すると、全体に一月の始まりはやや低め。ごく稀に、昨年よりも上回る方も居られました。しかし、その後は各月順調に上がります。

このコロナ禍で、大なり小なり影響は受けますが、大神様のご守護を受けられ、教信徒の皆様は無事に乗り切る事が出来ます。目前の事象一つ一つをしっかりと

お家に合わせ、少しずつ違ったお正月飾りが出来上がりました。

お正月のしめ飾りとして、玄関に飾られ新年をお迎えになられたことと思います。会員の皆様、是非次回も沢山の参加お待ち致しております。

お家に合わせ、少しずつ違ったお正月飾りが出来上がりました。

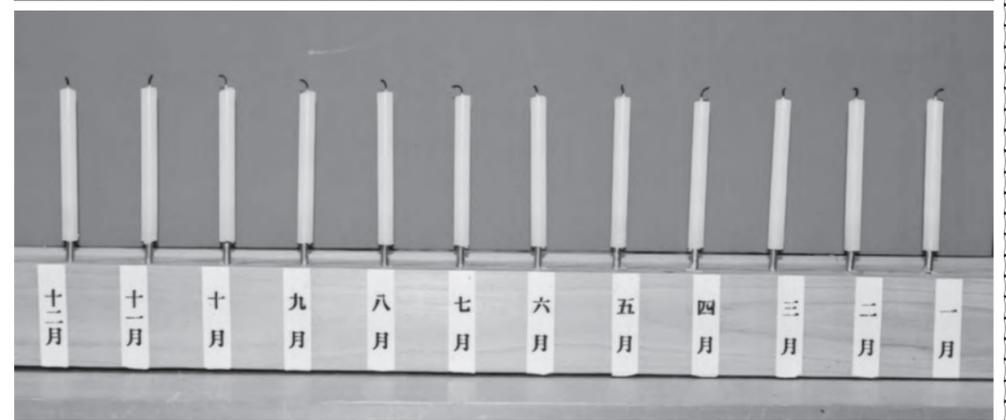
お正月のしめ飾りとして、玄関に飾られ新年をお迎えになられたことと思います。会員の皆様、是非次回も沢山の参加お待ち致しております。

例年三月に開催いたしております。愛教婦人会総会ですが、今年は諸事情を鑑み、延期とさせていただきます。期日決まりしだい、改めてご案内申し上げます。

令和3年 辛丑之年 月並運勢ご神宣とお蠟燭(冬至祭)

(令和2年12月21日)

項目	政治		経済		社会問題		思想		疾病		天災						動乱				
	国内	外国	国内	外国	国内	外国	国内	外国	国内	外国	九州	中国	近畿	中部	北陸	関東	東北	北海道	国内	外国	
1																					
2																					
3																					
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					
11																					
12																					



こすまでに至った理由は、恐らく、主人公の無限の優しさのみならず、「心を燃やして事に当たる」「男らしさ」「長男らしさ」「家族の絆」といった、戦後の日

本が多くの家庭や教育現場で失ってしまった「日本人が渴望しているのではないかと推察致しております。私共の信仰する寶生教こそが、その様な日本の神道

での、古き良き日本の当たり前を、現代の多くの人々が望んでいるのではないかと推察致しております。私共の信仰する寶生教こそが、その様な日本の神道

精神を今に伝える教えなの

動「ご神威」は発動されるのです。

人生とは、まさに山あり谷あり。

時には此度のコロナ禍の様、壁に直面したり、大きな悲しみに見舞われたりします。

しかし、そう云った壁や悲しみも、いつかは晴れる時が来ます。どの様な時にも、大神様、御祖先様方は皆様を守り続けて下さいます。大神様、御祖先様に、不平不満を言ってしまうのはそれ迄です。

大神様、御祖先様方のご守護に感謝し、自身が努力を怠らなければ、神自らがお導き下さいます。これが、「天祖中心祖先之教」です。「身太氣神自之教」です。

今年、辛丑の歳。痛みを伴いつつも、希望に向かつて道が開ける歳であると云われています。

どうぞ、寶生教を信仰する私達、共々に、大神様、御祖先様のご守護、各家御祖先様方のお導きにより、希望に満ちた歳としたいと思います。

終わりに、世界平和、国家発展、皇室安泰、教勢拡充、教信徒各家の更なる自家成立を祈念申し上げ、元旦祭の挨拶と致します。

又年末より数日来、今日の元日祭に向けご準備ご奉仕頂きました総代始め参事、地区世話人、婦人世話人、青年部、宝寿会、有志の皆様には、心より厚く御礼申し上げます。

今年も献饌米 青年部初顔合わせ お下げご奉仕のみとなりました。



米俵をお下げし、袋に移します。

一月十七日(日)、好天のもと、青年部初顔合わせ、お米おろしのご奉仕を行いました。

製が書かれてあります。その中でも代表的なものが先程の御製で、意味は「差し昇る朝日の如くに、爽やかな心もちを、いつでも持つていたいですね」と云う、非常に縁起の良い、希望の歌です。

「もたまほしき」という言葉が聞き慣れませんが、「持つ」という動詞と、「欲しい」という意味の希望の助動詞を合わせて「もたまほしき」という表現がなされております。

明治天皇自らが、我々国民に対して伝えたいメッセージとしてお詠みになった御製ではないかと存じます。信仰は「朝に感謝、夕べに感謝」。清々しい朝を迎えられた事に感謝し、夕べには無事に一日を終えた事に感謝する。

そうして又次の日も希望に満ちた、爽やかな心もちを持ち続けさせて頂けるのは、何より大神様、ご祖先のご守護でございます。

御教祖のみ教えの通り、明治天皇の御心をそれぞれがしっかりと心に留め、本年もお互いに佳き年となる事を願っております。

1ジとしてお詠みになった御製ではないかと存じます。信仰は「朝に感謝、夕べに感謝」。清々しい朝を迎えられた事に感謝し、夕べには無事に一日を終えた事に感謝する。

そうして又次の日も希望に満ちた、爽やかな心もちを持ち続けさせて頂けるのは、何より大神様、ご祖先のご守護でございます。

御教祖のみ教えの通り、明治天皇の御心をそれぞれがしっかりと心に留め、本年もお互いに佳き年となる事を願っております。

御本宮 月並祭 毎月第一日曜日 午前十一時半より

話教 朝日の如く、さわやかな心を

親しんでいたのだらうという感じがうかがえます。お話の最後に、ある和歌をご紹介します。

「さしのぼる 朝日のごとく さわやかに もたまほしきは ころなりけり」という和歌です。

すでにお聞き及びの方も居られるかと存じますが、明治天皇の御製です。東京都代々木に鎮座する明治神宮のおみくじには、「大吉」や「小吉」という記載は無く、明治天皇の御

製が書かれてあります。その中でも代表的なものが先程の御製で、意味は「差し昇る朝日の如くに、爽やかな心もちを、いつでも持つていたいですね」と云う、非常に縁起の良い、希望の歌です。

「もたまほしき」という言葉が聞き慣れませんが、「持つ」という動詞と、「欲しい」という意味の希望の助動詞を合わせて「もたまほしき」という表現がなされております。

明治天皇自らが、我々国民に対して伝えたいメッセージとしてお詠みになった御製ではないかと存じます。信仰は「朝に感謝、夕べに感謝」。清々しい朝を迎えられた事に感謝し、夕べには無事に一日を終えた事に感謝する。

そうして又次の日も希望に満ちた、爽やかな心もちを持ち続けさせて頂けるのは、何より大神様、ご祖先のご守護でございます。

御教祖のみ教えの通り、明治天皇の御心をそれぞれがしっかりと心に留め、本年もお互いに佳き年となる事を願っております。

皆様は、「二十四節気」、「七十二候」と云う言葉をご存知でしょうか。

太陽の通り道を黄道と云いますが、その動きによって一年間を二十四等分し、そこに季節を表す名を当てはめたものが「二十四節気」で、よく聞くものは「立春」や「秋分」、「冬至」などがあります。

そこから派生して「雑節」と云う特別な暦日もあります。「節分」がその一つです。そして、二十四節気をさらに約五日ずつの三つに分けたものを「七十二候」と云い、中国から伝来した季節を表す方式の一つです。

そこから発展した書物で、こちらも元々は中国で考えられた『歳時記』という、四季の事物や年中行事などを列記する書物があります。

江戸時代以降、日本では主に俳句の季語を取りまて、四季に応じた季語を分類しております。

扱、その二十四節気によりますと、先日一月五日は「小寒」。いよいよ寒さが本番を迎えるという季節が訪

少し正月行事に触れておきますと、七日は「七草粥」といって、お正月に疲れた胃腸を、七草粥を食べて休ませるといふ風習も耳にされた事があるでしょう。

そして、一月十一日が、本来「鏡開き」と云われております。教会においては「末広がり」の日というところで、昔から八日にお鏡開き神事を執り行います。

鏡開きは、お正月にお供え、又お飾りした鏡餅をお下げするわけですが、何故お正月に鏡餅を用意するのかご存知でしょうか。

勿論神様へのお供えでもありますが、その鏡餅自体が、神様の降りてこられる依代であるとも云われます。鏡餅に降りられる神様は歳神様といい、山の恵みの神様です。その歳神様が里へ降りてきて、各家に福を授けてくださいます。

いわゆる「田」の神様でもある歳神様は、春になるとまず桜の木に宿ります。桜の花が芽吹く頃に、歳神様の恵みを受けて、日本人は田植えをします。

「もたまほしき」という言葉が聞き慣れませんが、「持つ」という動詞と、「欲しい」という意味の希望の助動詞を合わせて「もたまほしき」という表現がなされております。

明治天皇自らが、我々国民に対して伝えたいメッセージとしてお詠みになった御製ではないかと存じます。信仰は「朝に感謝、夕べに感謝」。清々しい朝を迎えられた事に感謝し、夕べには無事に一日を終えた事に感謝する。

そうして又次の日も希望に満ちた、爽やかな心もちを持ち続けさせて頂けるのは、何より大神様、ご祖先のご守護でございます。

御教祖のみ教えの通り、明治天皇の御心をそれぞれがしっかりと心に留め、本年もお互いに佳き年となる事を願っております。

話教 数え年が神事に沿う

本日は厳しい寒さの中、大祓式によるごご参拝下さいました。

本日皆様と共にご奉仕致しました大祓式とはどの様な行事なのか、改めてお話しさせていただきます。

本日はその御扉の前に、神を差し立てて、神籬を設け備え、祓戸四柱之大神に降り神いただき、神事を執り行いました。

祭典中、大祓詞を奏上しました。普段は中臣之太祓

しさせて頂きます。大祓式は、一年で知らず識らずのうちに犯したる罪、穢れを祓い清める神事でございます。

教会の御神殿には、寶生山八津御嶽大神をはじめ、助勢の神々が鎮座されております。

本日はその御扉の前に、神を差し立てて、神籬を設け備え、祓戸四柱之大神に降り神いただき、神事を執り行いました。

祭典中、大祓詞を奏上しました。普段は中臣之太祓

というところで、前巻と後巻を斎主祝詞の前後に奏上しますが、大祓式では前巻、後巻を一度に、何時もより早い速度で奏上します。

まさに、罪、穢れを押し流す如くに、気を込めて奏上するのが、大祓詞という祝詞なのです。

そうして、身も心も清々しく新年を迎えるということが、神代の古より伝わる、大切な事なのです。

扱、話は少し変わりますが、皆様よくご存知の様、年齢の数え方には数え年と

皆様が、「二十四節気」、「七十二候」と云う言葉をご存知でしょうか。

太陽の通り道を黄道と云いますが、その動きによって一年間を二十四等分し、そこに季節を表す名を当てはめたものが「二十四節気」で、よく聞くものは「立春」や「秋分」、「冬至」などがあります。

そこから派生して「雑節」と云う特別な暦日もあります。「節分」がその一つです。そして、二十四節気をさらに約五日ずつの三つに分けたものを「七十二候」と云い、中国から伝来した季節を表す方式の一つです。

そこから発展した書物で、こちらも元々は中国で考えられた『歳時記』という、四季の事物や年中行事などを列記する書物があります。

江戸時代以降、日本では主に俳句の季語を取りまて、四季に応じた季語を分類しております。

扱、その二十四節気によりますと、先日一月五日は「小寒」。いよいよ寒さが本番を迎えるという季節が訪



大祓式神楽「花湯」、舞人は、森彰子さん。

しさせて頂きます。大祓式は、一年で知らず識らずのうちに犯したる罪、穢れを祓い清める神事でございます。

教会の御神殿には、寶生山八津御嶽大神をはじめ、助勢の神々が鎮座されております。

本日はその御扉の前に、神を差し立てて、神籬を設け備え、祓戸四柱之大神に降り神いただき、神事を執り行いました。

祭典中、大祓詞を奏上しました。普段は中臣之太祓

というところで、前巻と後巻を斎主祝詞の前後に奏上しますが、大祓式では前巻、後巻を一度に、何時もより早い速度で奏上します。

まさに、罪、穢れを押し流す如くに、気を込めて奏上するのが、大祓詞という祝詞なのです。

そうして、身も心も清々しく新年を迎えるということが、神代の古より伝わる、大切な事なのです。

扱、話は少し変わりますが、皆様よくご存知の様、年齢の数え方には数え年と